

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成30年12月13日 (2018.12.13)

【公開番号】特開2017-172252(P2017-172252A)

【公開日】平成29年9月28日 (2017.9.28)

【年通号数】公開・登録公報2017-037

【出願番号】特願2016-60448(P2016-60448)

【国際特許分類】

E 0 6 B 9/54 (2006.01)

E 0 6 B 9/58 (2006.01)

E 0 6 B 9/02 (2006.01)

【F I】

E 0 6 B 9/54

E 0 6 B 9/58 A

E 0 6 B 9/02 F

【手続補正書】

【提出日】平成30年11月1日 (2018.11.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2】

前記係止部材は、前記支持レールが嵌合する凹状の支持溝を有し、該支持溝の相対する一対の溝壁のうち一方の第 1 溝壁に前記第 1 係止部が形成されると共に、他方の第 2 溝壁に前記第 2 係止部が形成されていることを特徴とする請求項 1 に記載のスクリーン装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

本発明においては、前記係止部材が、前記支持レールが嵌合する凹状の支持溝を有し、該支持溝の相対する一対の溝壁のうち一方の第 1 溝壁に前記第 1 係止部が形成されると共に、他方の第 2 溝壁に前記第 2 係止部が形成されることが望ましい。

より望ましくは、前記第 1 係止部及び第 2 係止部が、前記支持溝の幅方向内側に突出して前記第 1 係止縁及び第 2 係止縁に係止する係止爪を有し、該係止爪の内面と前記係止縁の裏面とのうち少なくとも一方の面、及び、前記係止爪の外表面と前記係止縁の表面とのうち少なくとも一方の面は、前記係止爪又は係止縁の先端側に向けて次第に該係止爪又は係止縁の厚みが薄くなる方向に傾斜していることである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 9】

前記連結凹部 3 5 は、相対する一対の凹部側壁 3 7 a , 3 7 b の間に形成されていて、該連結凹部 3 5 の中央に軸受部 3 8 が設けられている。

前記一对の凹部側壁 37a, 37b のうち、一方の第 1 凹部側壁 37a は、前記駒本体 20 の第 2 端 E2 側から、前記仮想面 S に徐々に近づく方向に傾斜しながら第 1 端 E1 近くまで直線的に延びる第 1 傾斜部 39a と、該第 1 傾斜部 39a の先端部分から前記第 1 端 E1 まで延びる第 2 傾斜部 39b と、前記第 1 傾斜部 39a と第 2 傾斜部 39b とを曲線的且つ滑らかに連ねる円弧状の連繋部 39c とを有し、前記第 2 傾斜部 39b の仮想面 S に対する傾斜角度は、前記第 1 傾斜部 39a の同傾斜角度より大きい。これに対し、他方の第 2 凹部側壁 37b は、前記軸線 L を介して前記第 1 凹部側壁 37a と線対称をなすように形成されている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0050

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0050】

一方、図 15 - 図 18 は、前記ガイド駒 17 が前記支持レール 5 に係止するときの動作を説明するものである。図 15 (a)、(b) に示すように、ガイド駒 17 の係止部材 21 が第 1 位置 A にある状態で、該ガイド駒 17 に下向きの力 F が作用すると、前記係止部材 21 の第 1 係止部 31a 及び第 2 係止部 31b の係止爪 32 の外面 32b が前記支持レール 5 の第 1 係止縁 5a 及び第 2 係止縁 5b の表面 16a に当接する。このとき、前記外面 32b は傾斜面になっているため、図 16 (a)、(b) に示すように、前記係止爪 32 と係止縁 5a, 5b との間に、該係止爪 32 が前記外面 32b に沿って係止縁 5a, 5b の先端側に変位しようとする力が働き、この力によって前記係止部材 21 に軸線 L を中心とするモーメントが発生し、このモーメントにより前記係止部材 21 が矢印 M 方向に回転するから、前記係止爪 32 は、前記係止縁 5a, 5b から外れる方向に変位する。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0055

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0055】

図 19 は前記スクリーンガイドの第 1 変形例を示すもので、この第 1 変形例のスクリーンガイド 15A では、複数のガイド駒 17A がピンで順次連結されている。

即ち、前記ガイド駒 17A の駒本体 20 における第 1 端 E1 側の端面には、その上端部の左右相対する位置に、一对の連結アーム 50, 50 が、スクリーンガイド 15A の長さ方向に突出するように形成されて、該一对の連結アーム 50, 50 にそれぞれ連結ピン 51 が取り付けられ、また、前記駒本体 20 の第 2 端 E2 側の端面には、その上端部の左右相対する位置に、凹段部状をした一对のアーム受け 52, 52 が形成されて、該アーム受け 52, 52 にそれぞれピン孔 53 が形成されている。

そして、隣接するガイド駒 17A, 17A 同士を、前記連結ピン 51 とピン孔 53 とによって順次回転自在に連結することにより、前記スクリーンガイド 15A が形成されている。